

# 4回目Vへ 士気高く

埼玉県所沢市のメットライフドームで9月1日に開幕する第42回全日本クラブ野球選手権大会（日本野球連盟、毎日新聞社主催）に、和歌山箕島球友会が西近畿地区代表として2年ぶりに出場する。各地区代表の計16チームで争われ、優勝チームは社会人野球日本選手権大会（京セラドーム大阪）への出場権を得る。今年のチームは投手陣の層が厚く、主軸も長打力があり、2年ぶり4回目の優勝を目指して士気も高まっている。【木原真希】

## 全日本クラブ野球あす開幕

チームは、6月の大阪 3-0の完封勝ちを収め、和歌山1次予選、7月め、西近畿予選の代表の西近畿予選にそれぞれ 決定戦でも先発し、復活優勝し、出場を決めた。

エースは3年目の右腕 寺岡大輝投手(24)。2015年のクラブ野球選手権優勝に貢献したが、昨年は事故によるけがの影響で満足な投球ができなかった。今年は大坂和歌山1次予選決勝で

## 箕島球友会 投打に好調

れるようになった」と自 松尾大輝投手(20)、和田拓也投手(23)も完投で



カナフレックス(滋賀)とのオープン戦で投球する寺岡大輝投手 有田市宮崎町のマツゲン有田球場で

きる力を持っている。

打撃では、3番・岸翔太選手(24)、5番・穴田真規選手(24)に長打力がある。新人で1番の夏見宏季選手(23)はしぶとい打撃と足の速さが持ち味だ。日高中津高を卒業後、関西国際大でプレーし、「野球を続けたい」と地元に戻ってきた。西近畿予選の代表決定戦でも本塁打を放ち、「1番打者として積極的に振って勢いをつけたい」と力強い。

チームは2日午前9時から東北地区代表の東北マークス(宮城)との初戦に臨む。林尚希主将(27)は「優勝しか考えていない」と意気込み、西川忠宏監督(56)は「相手は投手力が高いので、全力でぶつかっていく。足に小技を絡めたプレーで得点したい」と話している。